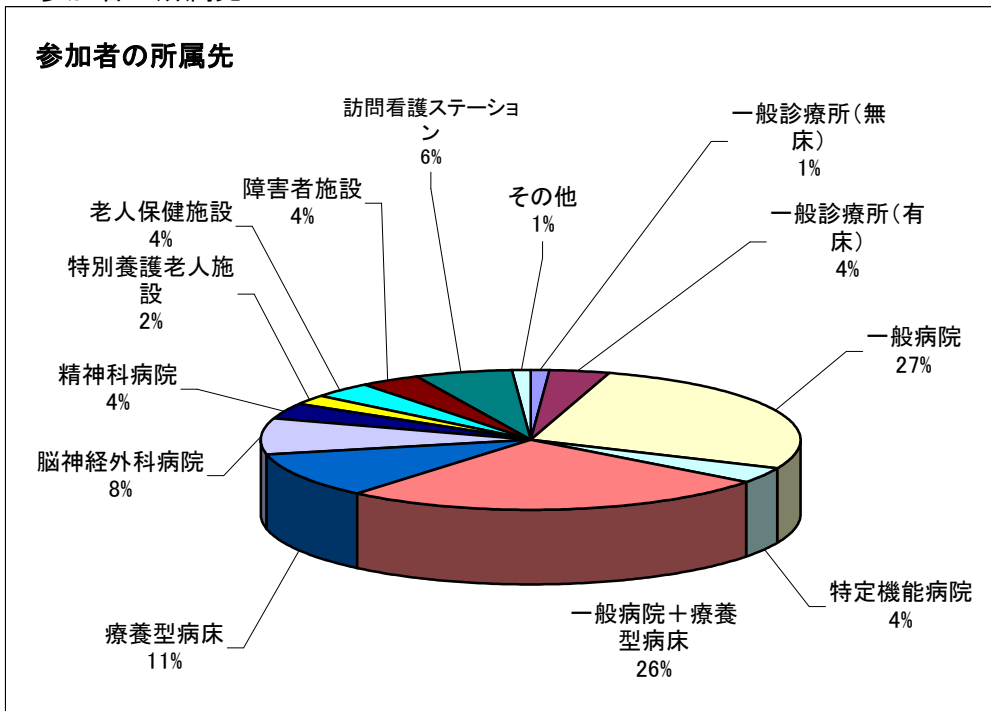


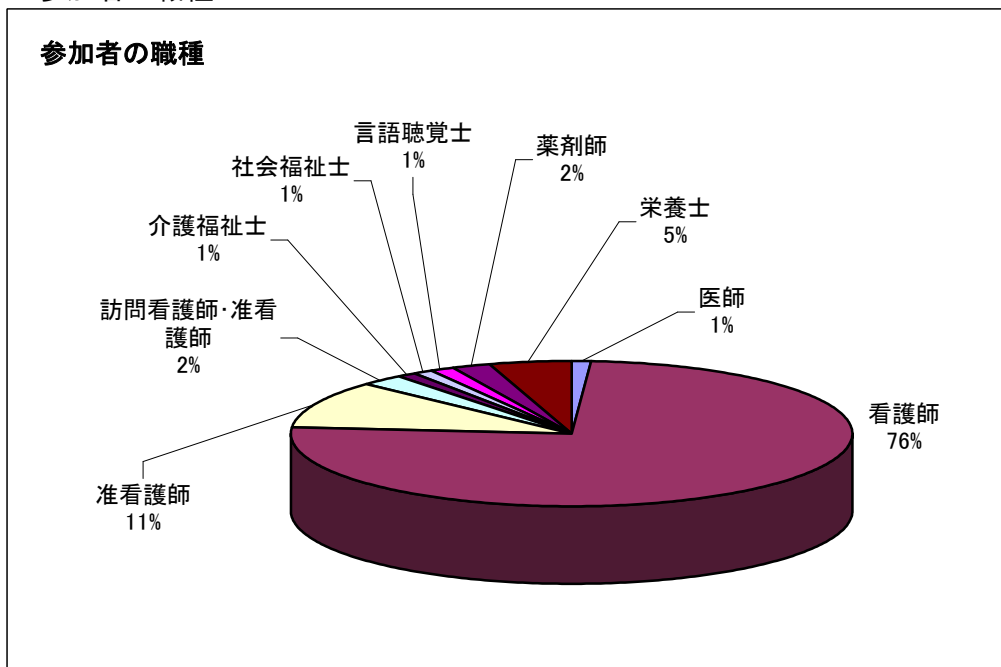
I. 参加者のプロフィール

■参加者の所属先



その他： 一般+リハビリテーション

■参加者の職種



■所属先の所在地

| 市、郡 | 札幌市 | 小樽市 | 千歳市 | 滝川市 | 函館市 | 標津郡 | 旭川市 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 29 | 12 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| % | 34% | 14% | 5% | 5% | 2% | 2% | 2% |

(つづき)

| 深川 | 河西郡 | 斜里郡 | 留萌市 | 勇払郡 | 帯広市 | 浄川 | 登別市 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2% | 1% | 1% | 1% | 1% | 1% | 1% | 1% |

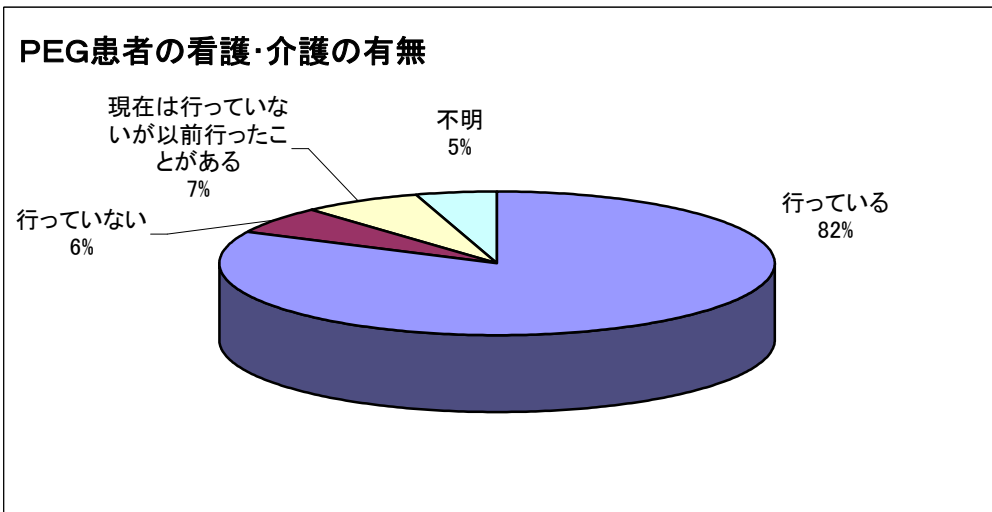
(つづき)

| 二海郡 | 恵庭市 | 夕張市 | 室蘭市 | 磯谷郡 | 紋別市 | 岩見沢市 | 北海道のみ |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 1% | 1% | 1% | 1% | 1% | 1% | 1% | 6% |

(つづき)

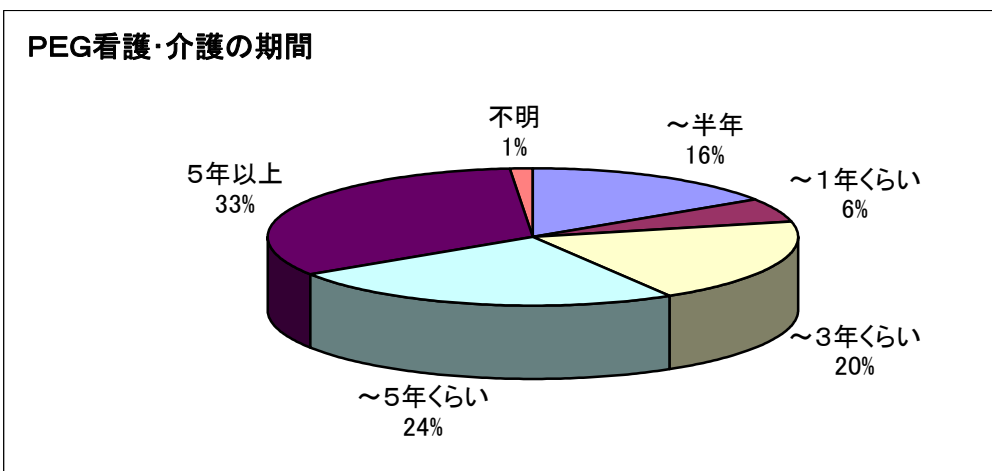
| |
|-----|
| 不明 |
| 9 |
| 11% |

■PEG患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N = 85

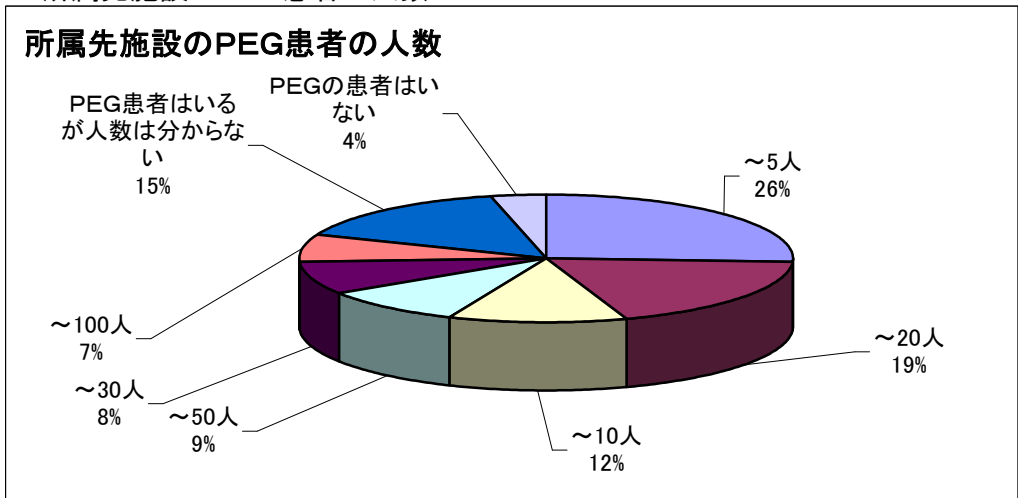
■PEG介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N = 70

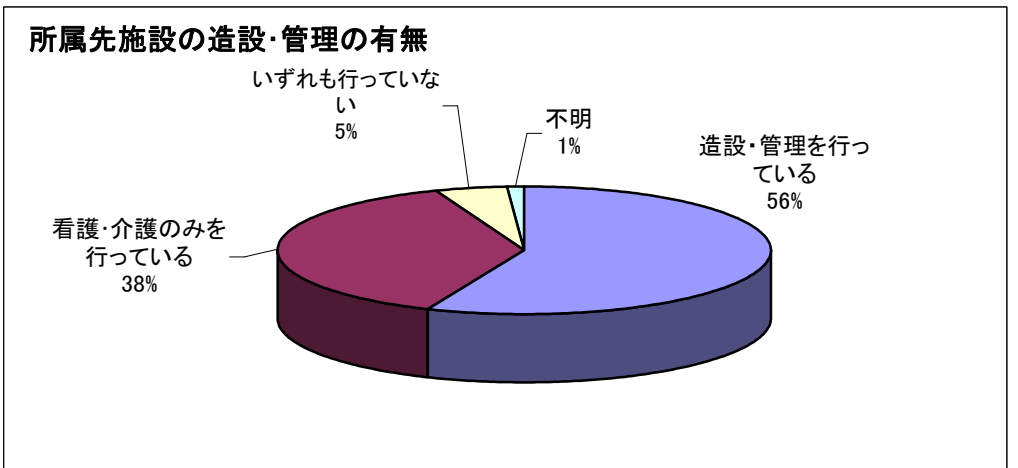
II. 所属先施設のPEGの現状 N=85

■ 所属先施設のPEG患者の人数



N=85

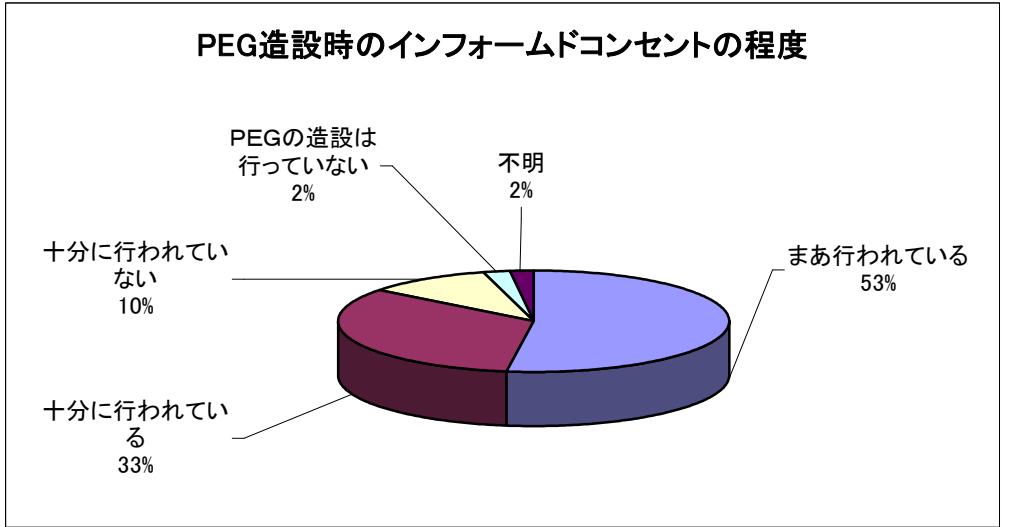
■ 所属先施設のPEG造設・管理の有無



N=85

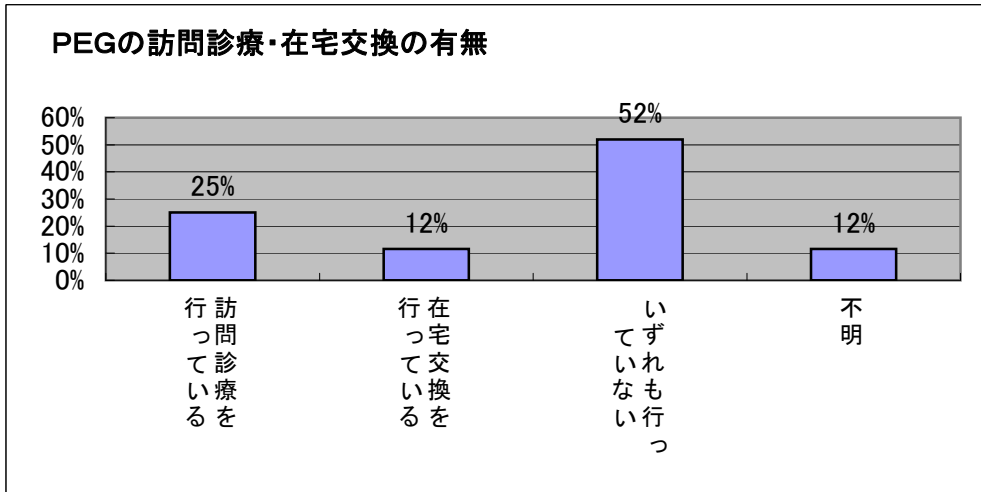
■ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



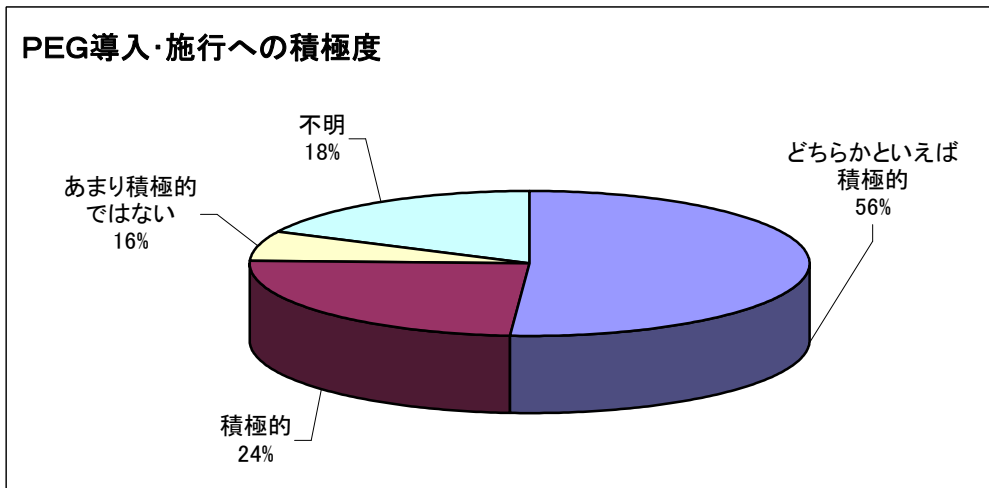
N= 48

■所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無



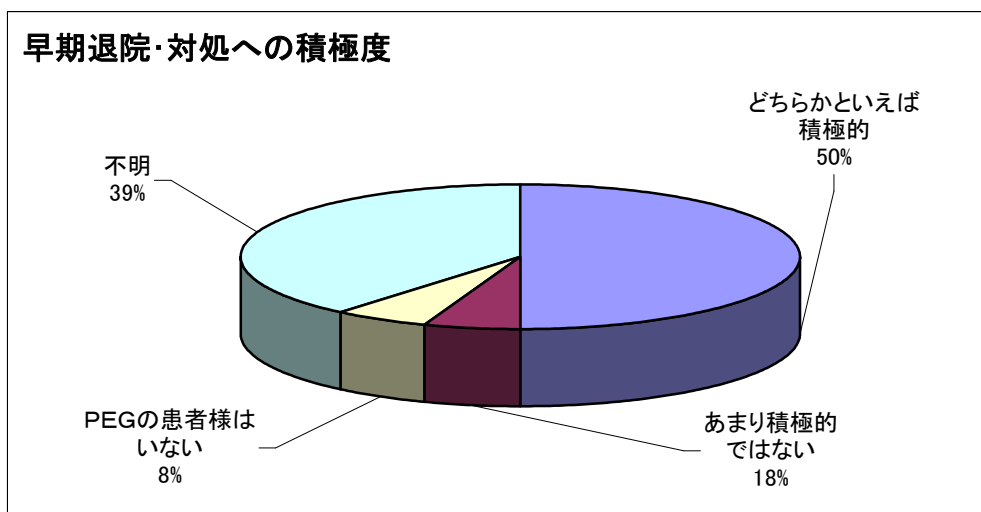
N=85

■所属先施設のPEG導入・施行への積極度

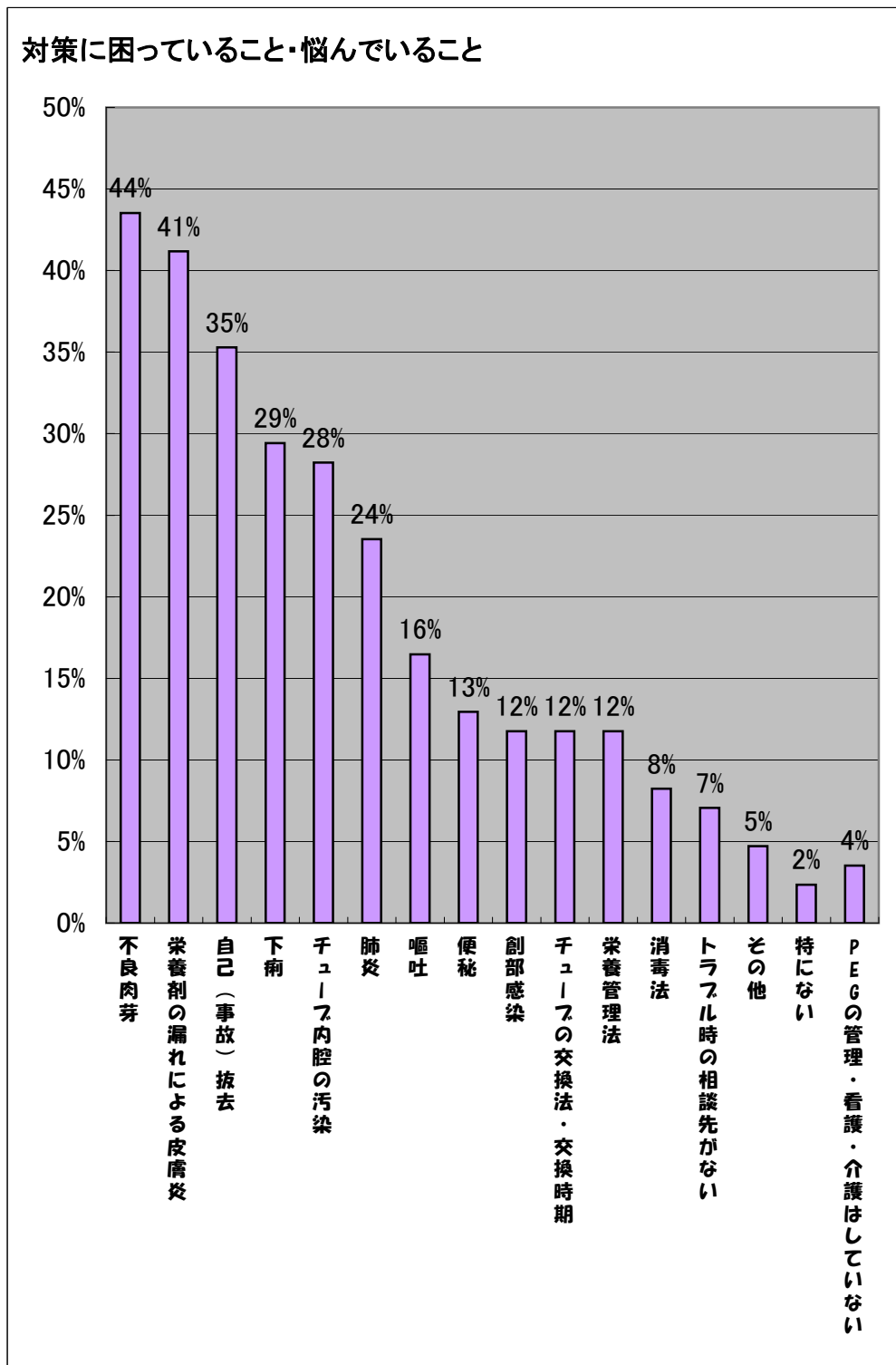


N=85

■所属先施設の早期退院・退所への積極度



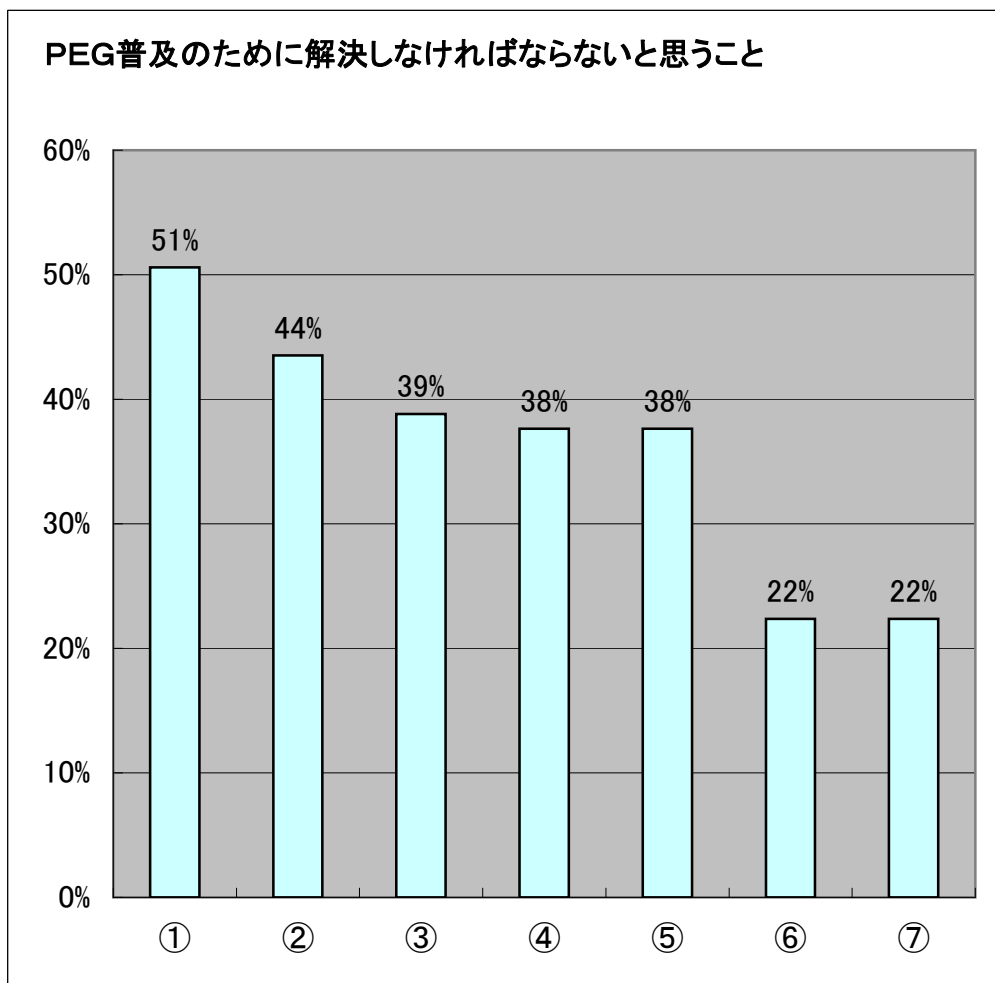
Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの（複数回答可）



- その他：
- ・造設後受け入れてくれる施設が殆どない。
 - ・腸瘻挿入(オペ時に)した患者様は、胃ろうに入れ替えるべきかどうか意見を聞きたい。
 - ・栄養セットやチューブの洗浄や消毒、チューブの交換はどのくらいがいいのか。

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)



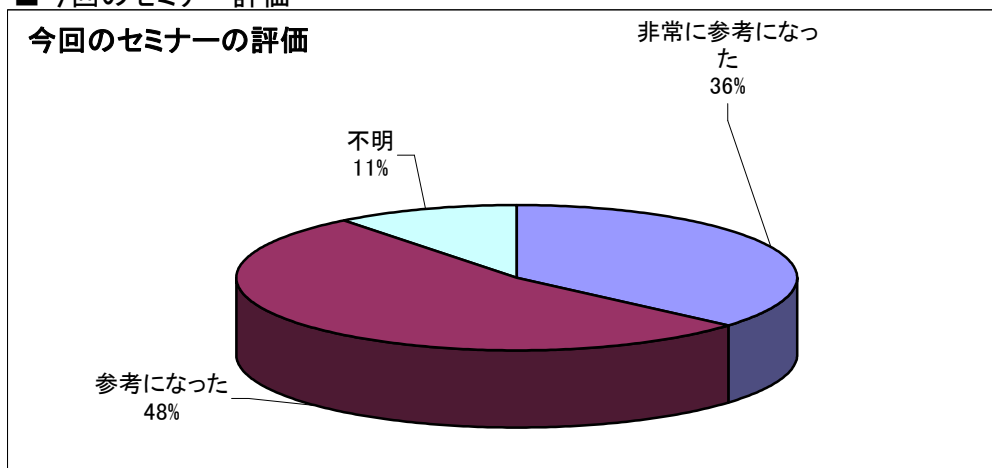
N=85

- ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) 51%
- ② PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) 44%
- ③ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 39%
- ④ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPRR活動の充実。 38%
- ⑤ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) 38%
- ⑥ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 22%
- ⑦ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみる。 22%

・手技の割にはコストが高めで、安易にPEG造設されている現状はないか。

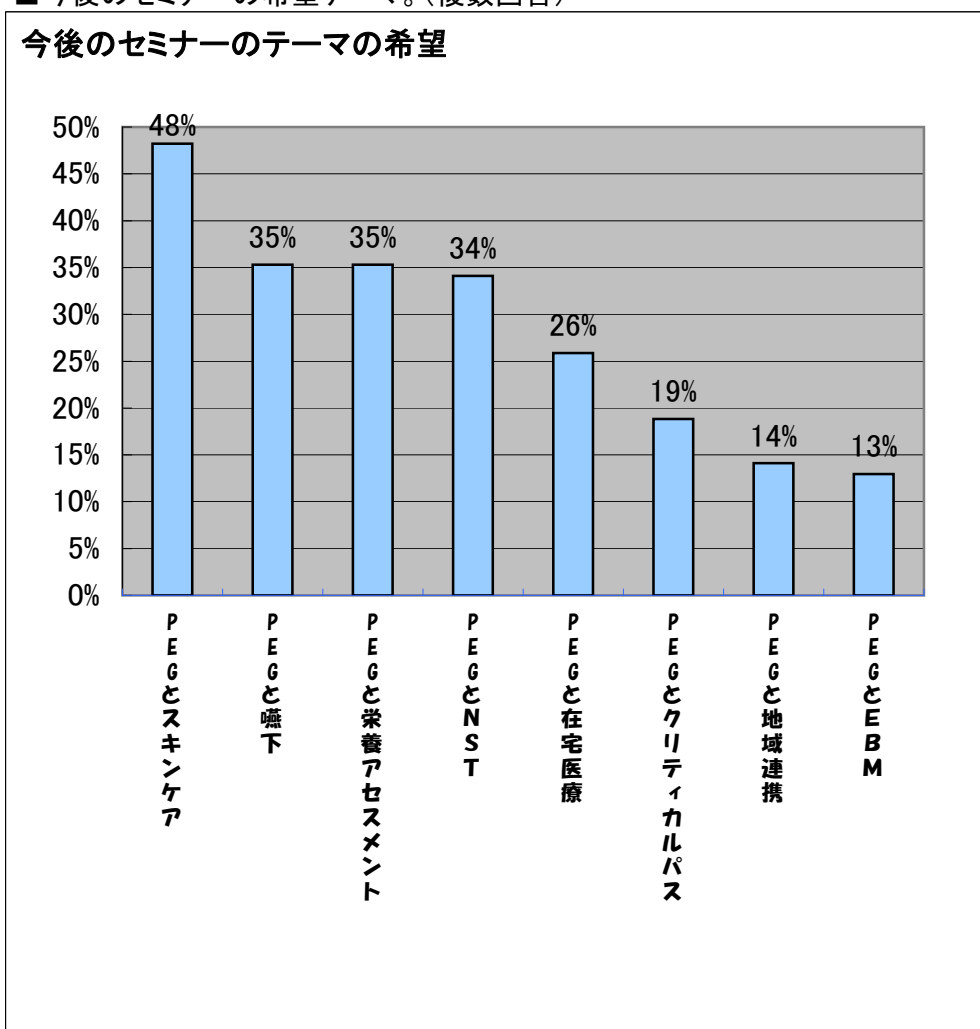
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=85

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=85

その他: PEGと誤嚥・下痢

VI. 自由回答意見

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- このようなセミナーを定期的で開催してほしい。(多数)
- 受付での混雑やトラブルが目立った。(多数)
- レジメ等の資料がほしかった。(多数)
- カンガルーボタンについて、交換近くなると逆流してることがあります。接続チューブの洗浄ブラシもついてくると嬉しいです。(看護師、脳神経外科病院)
- 栄養士でも話がわかりやすく勉強になりました。(栄養士、一般病院)
- 医師の中でもPEG造設に消極的な方もいる。医師にも、もう少しPEGの勉強会に参加していただきたい。(看護師、療養型病床)
- 初めての参加で大変勉強になりました。療養施設に勤務していますが、医師の捕らえ方は、PEGは延命の処置の一案と考え、ご親族にもそう説明しています。色々なセミナーや本などを読むたびにどちらが正当なのかと悩みます。在宅であればPEGも最良かと思いますが、病院では脳下からの転院で殆ど反応のない方が多く、チューブで生かされているというご家族の声も聞かれます。PEGを普及させたいと思いながらいつも迷いがついできます。先生方はどうお考えになるのでしょうか。(看護師、一般病院+療養型病床)
- 今まで病棟勤務でPEGは感染も少なく、管理がIVHより楽と思っており、そしてPEG挿入の方に対する経口摂取の可能性があることに考えが及びませんでした。現在在宅でPEGの管理の仕方から指導等の試行錯誤しながら行っていました。今回のセミナーの考えを実践に生かしていきたいと思います。(看護師、訪問看護ステーション)
- 失敗例も次のステップへの学習材料として隠すことなくお見せくださり、大変感心いたしました。また、両先生とも景色の写真やエピソードを織り交ぜて工夫されたご説明に飽きることもなく拝見させて頂きました。胃ろうの施設や在宅への浸透にはまだまだ厚い壁を日々感じておりますが、遠くない将来に気軽にみんなが胃ろうの管理を受け入れ、安全に使用できるようになることを心から望んでおります。(社会福祉士、一般病院+療養型病床)
- 私どもの施設では行政指導にて看護師がPEG患者さんの栄養注入を全部行う事となり、勤務時間8時間の間に栄養3回水分2回を注入する事となり、クオリティーオブライフが保てなくなっています。早く改善してほしいと思っています。(看護師、特別養護老人ホーム)
- 今までPEGに関して消極的だったが、考え方が変わった。もっと積極的に受け入れて、誰もがよくしていきたい。(栄養士、老人保健施設)

平成18年11月11日(土)

北海道PDNセミナー(道央地区)アンケート

回収サンプル数:85サンプル

Q1.あなたの所属先は?(ひとつだけ)

1. 一般診療所(無床)1% 2. 一般診療所(有床)4% 3. 一般病院27% 4. 特定機能病院4% 5. 地域医療支援病院0% 6. 一般病院+療養型病床26% 7. 療養型病床11% 8. 脳神経外科病院8% 9. 精神科病院4% 10. リハビリテーション専門病院0% 11. 特別養護老人施設2% 12. 老人保健施設4% 13. 有料老人施設0% 14. 障害者施設4% 15. 訪問看護ステーション6% 16. 居宅支援事業所0% 17. 在宅介護支援センター0% 18. その他1%(一般+リハビリテーション) 不明0.0%

Q2.あなたは次のどれにあたりますか?(ひとつだけ)

1. 医師1.2% 2. 看護師75.3% 3. 准看護師10.6% 4. 訪問看護師・准看護師2.4% 5. 介護福祉士1.2% 6. 作業療法士0.0% 7. 理学療法士0.0% 8. 社会福祉士1.2% 9. 臨床心理士0.0% 10. 言語聴覚士1.2% 11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)0.0% 12. 訪問介護員(ホームヘルパー)0.0% 13. 薬剤師2.4% 14. 栄養士4.7% 15. その他0.0% 不明0.0%

[医師以外の参加者に対して N=85]

Q3.あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか?(ひとつだけ)

1. 行っている82.4% 2. 現在行っていないが以前行ったことがある7.1% 3. 行っていない5.9% 不明4.7%

↓

N=70

Q4.PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか?(ひとつだけ)

1. ~半年位15.7% 2. ~1年位5.7% 3. ~3年位20.0% 4. ~5年位24.3% 5. 5年以上~232.9% 不明1.4%

[医師に対して N=1 結果の数字は実数]

Q5.先生のご担当診療科目は?(いくつでも)

1. 外科3 2. 内科1 3. 内視鏡科0 4. その他0

Q6.先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか?(ひとつだけ)

1. ~2,3年位前0 2. ~5年位前1 3. ~10年位前0 4. 10年以上前~0 5. PEGの施行は行っていない0

Q7.PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか?(いくつでも)

1. 脳血管障害1 2. 認知症1 3. 神経疾患0 4. 呼吸器疾患1 5. 外傷0 6. 癌1 7. その他0 8. PEGの施行は行っていない0

Q8.腹腔内誤挿入を経験したことがありますか?(ひとつだけ)

1. ある0 2. ない3 3. PEGの施行は行っていない4

Q9.貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか?(ひとつだけ)

1. ~10件以下0 2. ~20件1 3. ~30件1 4. ~40件0 5. ~50件2 6. 51件以上~0 7. PEGの施行は行っていない0 不明0

[以下、全員に対して N=85]

Q10.訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか?(ひとつだけ)

1. ~5人25.9% 2. ~10人18.8% 3. ~20人11.8% 4. ~30人8.2% 5. ~50人9.4% 6. ~100人8.2% 7. 101人以上~7.1% 8. PEGの患者様はいるが人数はわからない3.5% 9. PEGの患者様はいない15.3% 不明0.0%

平均:11.30人

Q11.御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか?(ひとつだけ)

1. 造設・管理を行っている56.5% 2. 看護・介護のみを行っている37.6% 3. いずれも行っていない4.7% 不明1.2%

↓

N=48

Q12.御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか?(ひとつだけ)

(Q12のつづき)

1. 十分に行われている33.3% 2. まあ行われている52.1% 3. 十分に行われていない10.4% 4. PEGの造設は行っていない2.1% 不明2.1%

Q13.御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

1. 訪問診療を行っている25% 2. 在宅交換を行っている12% 3. いずれも行っていない52% 不明12%

N=85

Q14.御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

1. 積極的12.9% 2. どちらかといえば積極的47.1% 3. あまり積極的でない27.1% 4. PEGの導入・施行はまだ行っていない3.5% 不明9.4%

Q15.御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

1. 積極的2.4% 2. どちらかといえば積極的21.2% 3. あまり積極的でない57.6% 4. PEGの患者様はいない2.4% 不明16.5%

Q16.PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

1. 自己(事故)抜去35% 2. 肺炎24% 3. 嘔吐16% 4. 下痢29% 5. 便秘13% 6. 栄養剤の漏れによる皮膚炎41% 7. 不良肉芽44% 8. 創部感染12% 9. チューブの交換法・交換時期12% 10. チューブ内腔の汚染28% 11. 消毒法8% 12. 栄養管理法12% 13. トラブル時の相談先がない7% 14. その他5% 15. 特にない2% 16. PEGの管理・看護・介護はしていない4%

Q17.PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください？(3つだけ)

- | | |
|---|-------|
| 1 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実。 | 37.6% |
| 2 PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 50.6% |
| 3 PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 43.5% |
| 4 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 37.6% |
| 5 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 38.8% |
| 6 PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 22.4% |
| 7 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみる | 22.4% |

Q18.きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

1. 非常に参考になった36.5% 2. 参考になった52.9% 3. 参考にならなかった0.0% 不明10.6%

Q19.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下35% 2. PEGと栄養アセスメント35% 3. PEGとスキンケア48% 4. PEGと在宅医療26% 5. PEGとNST34% 6. PEGとクリティカルパス19% 7. PEGと地域連携14% 8. PEGとEBM13% 9. その他1%

Q20.所属先の所在地は？

県

市・郡

Q21.PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？